

出演：田中泯 音楽：坂本龍一

黒の牛

禅に伝わる悟りへの道程を描く

「十牛図」から着想を得た、

圧倒的映像美で誘う「無」への旅

蔦哲一朗の眼差しに、
あらためて心を動かされました。
シャオカンがこれほど
澄みきった作品に身を委ねたことを
誇りに思います。

—— ツァイ・ミンリャン (映画監督) ——

※シャオカンとはリー・カンシヨンの愛称であり役名

第37回

第49回

第26回

東京国際映画祭

アジアの未来部門 出品

香港国際映画祭

Firebird Award (最高賞) 受賞

全州国際映画祭

NETPAC 賞 (最優秀アジア映画賞) 受賞

今は昔、急速に変わりゆく時代の中で、自然との繋がりを見失った狩猟民の男は自分の分身とも言える牛と出会う。

男は農民となって牛と共に大地を耕しながら、木、水、風、霧、土、火、

万物どのつらなりをただ静かに見つめ、刻み、還る——

主演はツァイ・ミンリャン監督作品で知られるリー・カンシヨン、

田中泯が禅僧を演じ、生前参加を表明していた坂本龍一の楽曲が使用されている。

禅に伝わる悟りまでの道程を十枚の牛の絵で表した「十牛図」から着想を得て、

『祖谷物語 - おくのひと -』の蔦哲一朗監督が手がけた本作は、

長編劇映画では日本初となる70mmフィルムを一部使用し、圧倒的な映像美で誘う「無」への旅でもある。

監督・脚本・編集：蔦哲一朗 プロデューサー：市山尚三、エリック・ニアリ、黄インイク、アレックス・ロー 共同プロデューサー：饒紫娟 撮影監督：青木稜

脚本：久保寺見一、上田真之、熊野桂太 美術：部谷京子 衣装：大塚満 録音：岩間翼、大町響楓 サウンドデザイン：周震、松野泉 音楽：坂本龍一

出演：リー・カンシヨン、ふくよ(牛)、田中泯、須森隆文、ケイタケイ

2024年/日本=台湾=アメリカ/114分/シネマスコープサイズ/5.1ch サラウンド/白黒&カラー 配給：alfabet、ニコニコフィルム、ムーリンプロダクション

黒之牛
黒の牛

2026年 1月23日(金)より ヒューマントラストシネマ有楽町、新宿 K's cinema 他 全国公開